

本時のねらい

- ・健康と病気に関する知識と、日々の行動が健康に良いものかどうかを判断する力を身につける。
- ・自分の得意なところを理解し、克服するために繰り返し問題を解き、知識の定着を図る。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・カフトを利用して、既習事項についてゲーム感覚で楽しみながら復習をする。
- ・「Google フォーム」を利用して、基礎的・基本的な知識の定着をスムーズに確認することができる。

本単元で育む主な情報活用能力

J-STEP3, L-STEP2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Google クラスルーム
- ・カフト
- ・Google フォーム

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none">・前時の学習活動の確認をする。・本時のめあての確認をする。・本時のめあて「学んだことを確認し、復習しよう」	<ul style="list-style-type: none">・資料や写真を個々の端末に映し出すことで、視覚的に思い出しながら既習事項を確認することができた。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none">・カフトを使って、既習事項について復習をする。 【写真1】・近くの人と協力しながら問題を考えていく。 【写真2】	<ul style="list-style-type: none">・カフトを使うことで、知識の定着に課題のある生徒でも、基礎的・基本的な問題に楽しみながら何度も取り組むことができた。・1人で取り組むだけでなく、他者と協力する場面を設定したことにより、意見の交流が活発になった。
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none">・Google クラスルーム内に貼り付けられた Google フォームを使い、既習事項について小テストを行う。・小テストが終わり次第、間違えたところを各自で確認し、復習をする。 【写真3】	<ul style="list-style-type: none">・Google フォームを使うことで、提出・採点・返却がすぐにでき、そのままカフトで確認、復習ができた。・カフトの勉強が「楽しい」「おもしろい」だけで終わらないように、小テストを行うことで知識の定着を確認することができた。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】カフトの問題を答える画面



【写真2】各自でカフトに取り組んでいる場面



【写真3】Google フォームの小テストの画面

児童生徒の反応や変容

- ・カフトを使って問題を解くことで、勉強に前向きに取り組みにくい生徒でも楽しく勉強ができている姿が見られた。また、授業の最後に同じ内容の小テストを行うことで、楽しみながらも真剣に問題を解いている様子が見られた。
- ・Google フォームで小テストを行うことで、教員が提出後すぐに確認ができ、生徒も間違えたところをすぐに確認し、復習に取り組めた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・カフトを使うと、同じ問題を何度も解いても苦にならないため、知識の定着に課題がある生徒でも楽しみながら取り組むことができる。また、一度間違えた問題が正解するまで繰り返し出てくるので、何度もチャレンジすることができる。
- ・遊びにならないよう、Google フォームで小テストを行うことを告知しておくことにより、楽しみながらも真剣に取り組むことができた。
- ・Google フォームでの小テストは、配付・記名・回収の手間を省くことができ、授業を中断することなく進められる。